

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～ 市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通 ～

**基本目標 1：地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」**  
交通事業者との連携を強化して軸となる路線の維持・改善を図る

【目標指標】

年間輸送人員／実車走行キロ

- 市内全路線 現状値（平成28年度）：2.03人／km  
目標値（平成34年度）：2.41人／km
- 軸となる区間 現状値（平成28年度）：2.41人／km  
目標値（平成34年度）：増加

■施策1 バス路線の維持と継続的な見直し

①交通事業者との連携強化

必要に応じて打合せや分科会を開催し情報共有や協議等を行う。

②補助金の継続

基幹交通となっているバス路線に対して、補助金を継続して交付する。

③利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し

運行改善や利用促進につながるモニタリングを効果的に実施する。

■施策2 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施

①観光施策と連携した利用促進

お散歩マーケット（間野黒指）、川遊びイベント（わくわく名栗クラブ）、なごみ市、なぐり見聞食ブラ散歩（名栗地区）等地域との連携

②市内コンテンツを活用した利用促進

「ヤマノススメ」ラッピングバスの活用を検討

③おでかけ促進と連携した利用促進

各施設や各課が実施する各種イベントに公共交通の利用やバス路線の停留所位置図などを入れ利用促進につなげる。

■施策3 バス運行環境の整備

①バス停の待合環境の改善

②施設を活用した待合環境の整備

③飯能駅北口ロータリー周辺の使い方の改善

メッツァオープンに向け、ロータリー周辺の使い方や混雑の緩和策など交通事業者とともに検討

④市内道路網の課題解決に向けた取組の実施 道路公園課が実施

■施策4 需要に応じたバス路線の見直し

①施設立地等に対応したバス路線の見直し

大河原工業団地経由便の運行、メッツァへのバス輸送、道路改良に伴うバス路線の見直しの検討

**基本目標 2：路線バスを身近にして公共交通を「育てる」**  
利用しやすい公共交通環境をつくり、おでかけを促進する

【目標指標】

路線バスを1年間に1回以上利用した割合

- 現状値（平成29年度）市民アンケート結果 = 41%
- 目標値（平成34年度）市民アンケート結果 = 43%  
(2ポイントの増加)

■施策1 バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進

①わかりやすい案内看板の設置

飯能駅北・南口、東飯能駅東口・西口において、鉄道から路線バス、タクシーの利用がスムーズになるよう、交通事業者等関係者と検討し、各々の役割において看板等について検討する。

②バスルートマップの作成・配布

本年度11月9日のメッツァピレッジ及び来年3月のムーンバレーパークのオープン、そして、道路改良工事に伴う路線の変更も含めたバスルートマップを本年度中に作成し、平成31年4月から配布する。

■施策2 市民地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施

①まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント

ワンコインゾーン、各種特典バス等既存の取組の周知に努める。

②通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント

全市的な「ノーマイカーデー」の本格実施、利用促進につながるチラシ・ポスターの作成・配布

■施策3 マイバス意識の醸成

①バスを使ってもらう取組

路線バスのツアーやスタンプラリーの実施

②バスのことを理解してもらう取組

新たな視点で行う「バスの乗り方教室」、「出前講座」の実施

③地域におけるマイバス意識の醸成

路線の維持を地域で考えていただけるような取組の推進

■施策4 公共交通利用のための利便性の向上

①乗継利便性の向上・・・候補場所の検討

②高等学校等バス通学費補助・・・継続して実施、補助の範囲や金額等の検討

③利便性向上のための設備投資・・・バスまちスポットの継続・拡大、公共交通のバリアフリー化に対する補助金の交付、バスロケの導入支援の検討等

**基本目標 3：生活を支える公共交通手段を「つくる」**  
おでかけを支える公共交通手段を地域が主体となって確保する

【目標指標】

将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合

- 全年代 現状値（平成29年度）市民アンケート結果 = 58%
- 目標値（平成34年度）市民アンケート結果 = 58%未満
- 65歳以上 現状値（平成29年度）市民アンケート結果 = 84%
- 目標値（平成34年度）市民アンケート結果 = 84%未満

■施策1 「おでかけ」を守るための検討

①飯能市地域公共交通対策協議会の運営

必要に応じて、定期的に会議を開催する。

地域での公共交通手段導入において、意見や助言を求めるとともに了承を得て進めていく。

②地域での公共交通を導入するための仕組みづくり

「地域主体による生活交通の導入・確保マニュアル」（仮称）の作成、周知、配布

③地域による主体的な運営組織づくり

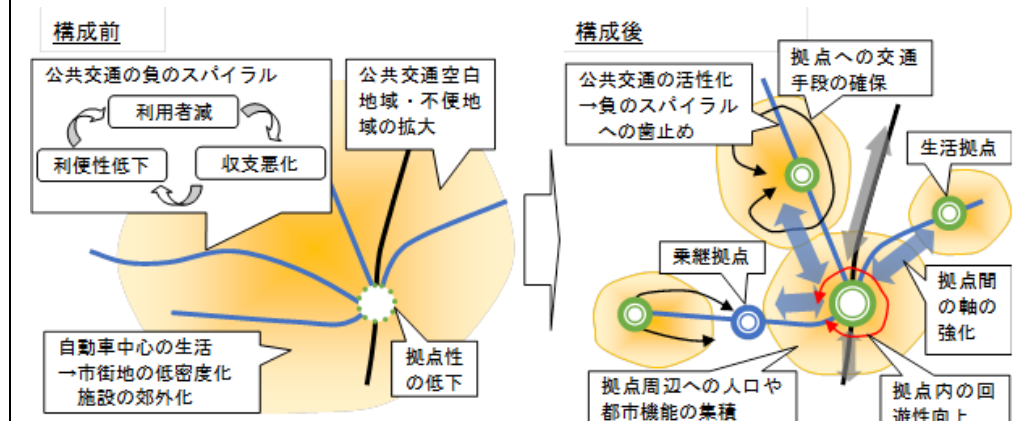
交通空白地域及び交通不十分地域に出向き、各々の地域における公共交通の運営組織づくりを推進するとともに、地域主体の移動手段の確保に必要な支援を行う。

■施策2 社会資源の活用の検討

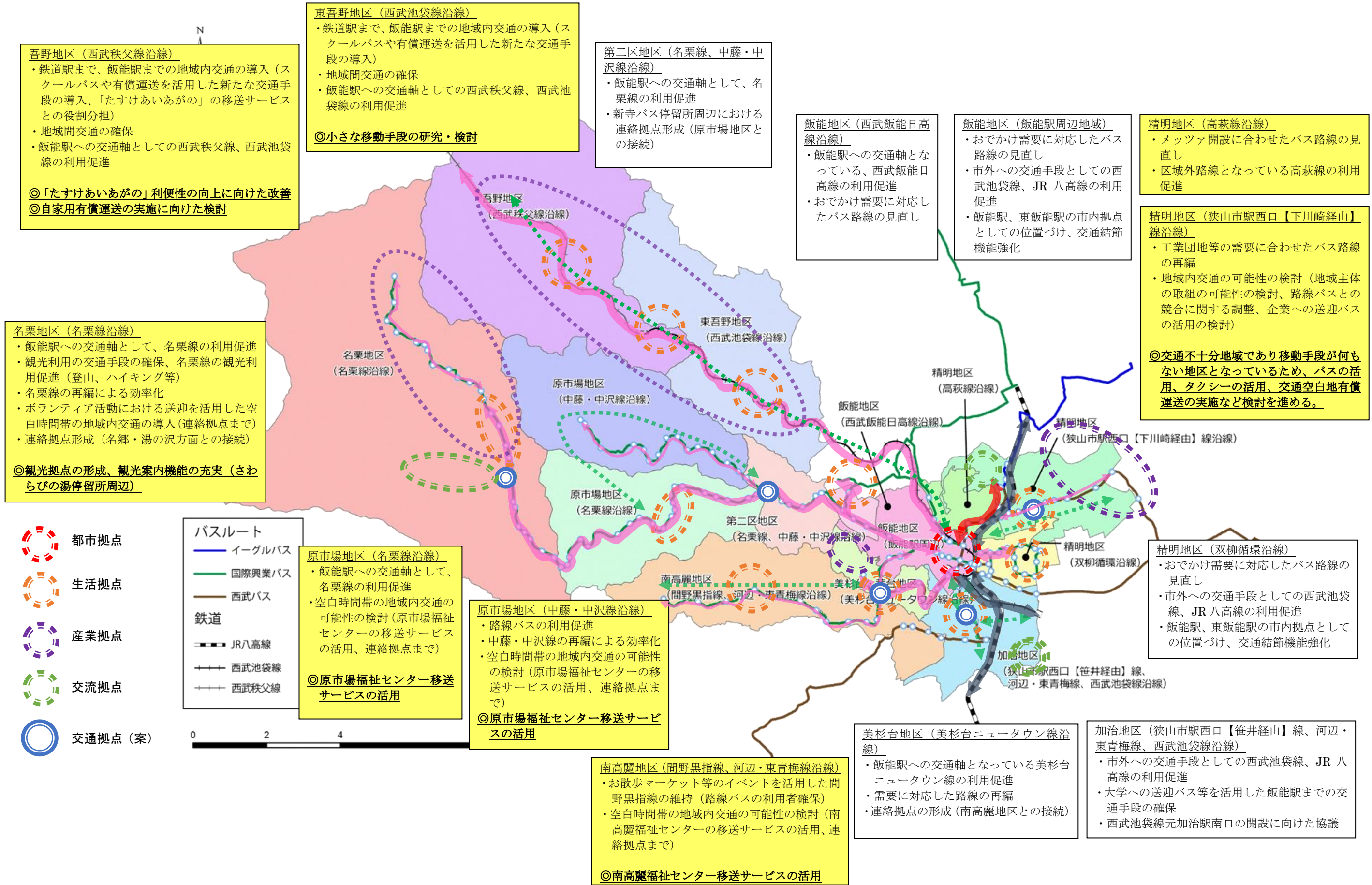
①スクールバスの混乗

- ・吾野小学校のスクールバスへの住民混乗を実証実験として実施
- ・実証実験の検証を行い、次年度以降の混乗について検討を行う。
- ・他の小学校スクールバスに混乗が可能かどうか交通事業者と検討を進める。

②送迎バスの活用検討・・・研究を進める。



# 【平成 30 年度地区別の取組】



**吾野地区 (西武秩父線沿線)**

- ・鉄道駅まで、飯能駅までの地域内交通の導入 (スクールバスや有償運送を活用した新たな交通手段の導入、「たすけあいあがの」の移送サービスとの役割分担)
- ・地域間交通の確保
- ・飯能駅への交通軸としての西武秩父線、西武池袋線の利用促進

◎「たすけあいあがの」利便性の向上に向けた改善  
◎自家用有償運送の実施に向けた検討

**東吾野地区 (西武池袋線沿線)**

- ・鉄道駅まで、飯能駅までの地域内交通の導入 (スクールバスや有償運送を活用した新たな交通手段の導入)
- ・地域間交通の確保
- ・飯能駅への交通軸としての西武秩父線、西武池袋線の利用促進

◎小さな移動手段の研究・検討

**第二区地区 (名栗線、中藤・中沢線沿線)**

- ・飯能駅への交通軸として、名栗線の利用促進
- ・新寺バス停留所周辺における連絡拠点形成 (原市場地区との接続)

**飯能地区 (西武飯能日高線沿線)**

- ・飯能駅への交通軸となっている、西武飯能日高線の利用促進
- ・おでかけ需要に対応したバス路線の見直し

**飯能地区 (飯能駅周辺地域)**

- ・おでかけ需要に対応したバス路線の見直し
- ・市外への交通手段としての西武池袋線、JR 八高線の利用促進
- ・飯能駅、東飯能駅の市内拠点としての位置づけ、交通結節機能強化

**精明地区 (高萩線沿線)**

- ・メツァ開設に合わせたバス路線の見直し
- ・区域外路線となっている高萩線の利用促進

**精明地区 (狭山市駅西口【下川崎経由】線沿線)**

- ・工業団地等の需要に合わせたバス路線の再編
- ・地域内交通の可能性の検討 (地域主体の取組の可能性の検討、路線バスとの競合に関する調整、企業への送迎バスの活用の検討)

◎交通不十分地域であり移動手段が何もない地区となっているため、バスの活用、タクシーの活用、交通空白地有償運送の実施など検討を進める。

**名栗地区 (名栗線沿線)**

- ・飯能駅への交通軸として、名栗線の利用促進
- ・観光利用の交通手段の確保、名栗線の観光利用促進 (登山、ハイキング等)
- ・名栗線の再編による効率化
- ・ボランティア活動における送迎を活用した空白時間帯の地域内交通の導入 (連絡拠点まで)
- ・連絡拠点形成 (名郷・湯の沢方面との接続)

◎観光拠点の形成、観光案内機能の充実 (さわらびの湯停留所周辺)

**原市場地区 (名栗線沿線)**

- ・飯能駅への交通軸として、名栗線の利用促進
- ・空白時間帯の地域内交通の可能性の検討 (原市場福祉センターの移送サービスの活用、連絡拠点まで)

◎原市場福祉センター移送サービスの活用

**原市場地区 (中藤・中沢線沿線)**

- ・路線バスの利用促進
- ・中藤・中沢線の再編による効率化
- ・空白時間帯の地域内交通の可能性の検討 (原市場福祉センターの移送サービスの活用、連絡拠点まで)

◎原市場福祉センター移送サービスの活用

**南高麗地区 (間野黒指線、河辺・東青梅線沿線)**

- ・お散歩マーケット等のイベントを活用した間野黒指線の維持 (路線バスの利用者確保)
- ・空白時間帯の地域内交通の可能性の検討 (南高麗福祉センターの移送サービスの活用、連絡拠点まで)

◎南高麗福祉センター移送サービスの活用

**美杉台地区 (美杉台ニュータウン線沿線)**

- ・飯能駅への交通軸となっている美杉台ニュータウン線の利用促進
- ・需要に対応した路線の再編
- ・連絡拠点の形成 (南高麗地区との接続)

**加治地区 (狭山市駅西口【笹井経由】線、河辺・東青梅線、西武池袋線沿線)**

- ・市外への交通手段としての西武池袋線、JR 八高線の利用促進
- ・大学への送迎バス等を活用した飯能駅までの交通手段の確保
- ・西武池袋線元加治駅南口の開設に向けた協議

**精明地区 (双柳循環沿線)**

- ・おでかけ需要に対応したバス路線の見直し
- ・市外への交通手段としての西武池袋線、JR 八高線の利用促進
- ・飯能駅、東飯能駅の市内拠点としての位置づけ、交通結節機能強化

- 都市拠点
- 生活拠点
- 産業拠点
- 交流拠点
- 交通拠点 (案)

- バスルート**
- イーグルバス
  - 国際興業バス
  - 西武バス
- 鉄道**
- JR八高線
  - 西武池袋線
  - 西武秩父線

